

施策13	生涯にわたり学習できる環境の充実	主管部長(課)	地域振興部長(文化観光課)
		関係部長(課)	教育委員会事務局次長(江東図書館)

1 施策目標

江東区の目指す姿										
区民が主体的に生涯学習に取り組み、習得した成果を地域に活かせる環境が整備されています。										
施策実現に関する指標(代表指標)										
指標名		単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
趣味や学習などに取り組んでいる区民の割合		%	9.8	7.4	7.6	7.1	10.0		20	文化観光課
指標選定理由		生涯学習への区民の参加状況を客観的に示す指標であるため								
分析	達成度	◆各文化センター等や各図書館での特色ある講座や事業展開を行っていることに加え、コロナ禍から回復する中で、個々の活動範囲も広がり、新型コロナウイルス感染拡大時と比較すると指標値の向上につながったものの、目標値への達成には及ばないことから、誰もがいつでも生涯学習に参加できる環境を整える他、生涯学習団体や講座、事業等の情報発信を行い、指標値の向上を図っていく必要がある。								
	2 (やや停滞)									
施策コストの状況										
種別		5年度予算	5年度決算	6年度予算		7年度予算				
トータルコスト		4,202,426千円	3,799,700千円	3,561,635千円		3,388,880千円				
事業費		3,906,444千円	3,539,929千円	3,250,667千円		3,114,064千円				
人件費		295,982千円	259,771千円	310,968千円		274,816千円				
《参考》施策を取り巻く状況(社会状況／国・都の動向)										
◆コロナ禍における外出自粛等を契機に、電子図書館等、ICTを活用したサービスの充実に対する需要が高くなっている。										
◆令和元年6月に「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律(読書バリアフリー法)」が施行され、障害の有無に関わらず、すべての人が読書による文字・活字文化の恩恵を受けられる環境整備を一層推進する必要がある。										
◆国は令和5年6月に「第4期教育振興基本計画」を閣議決定し、生涯学習に関する基本的な方針を「地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進」とし、「生涯学び、活躍できる環境整備」「学校・家庭・地域の連携・協働の推進による地域の教育力の向上」「地域コミュニティの基盤を支える社会教育の推進」を教育政策の目標とした。										
◆国は令和5年3月に第五次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」を、都は3年3月に「第四次東京都子供読書活動推進計画」を策定する中で、小・中・高校生の不読率の改善を課題として挙げている。										

2 施策目標の達成に向けた具体的な取組方針

取組方針1	生涯学習の促進
主な取組	学習機会の提供及び地域への還元
取組内容	◆「江東区文化観光ガイド養成講座」や「江東区文化観光ガイドフォローアップ講座」の開講のほか、深川江戸資料館の展示解説ボランティアの育成等を行うことにより、江東区の歴史や文化について学び、受講後はガイドとして地域のために活躍できる場の提供を継続していく。
主な実施事業	地域文化施設管理運営事業、生涯学習情報提供事業
取組方針2	図書館サービスの充実
主な取組	江東区立図書館経営方針に基づく図書館(11館および1分館、サービスコーナー1か所)の運営
取組内容	◆電子図書館サービスを活用した時間や場所にとらわれない読書活動の支援を行う。 ◆図書館ホームページ、SNS、情報誌等を活用したPRを行い図書館の利用促進を図る。 ◆建物の排水管工事に伴う東大島図書館休館にあたり、臨時窓口を開設し貸出および返却手続きを行う。
主な実施事業	図書館管理運営事業、図書館読書活動推進事業、学童疎開資料室運営事業

3 取組方針の実施状況

取組方針1	生涯学習の促進	主管部長(課)		地域振興部長(文化観光課)						
		関係部長(課)								
「生涯学習」は、学校教育や家庭教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など、様々な場や機会において行う学習であり、区民ニーズ・利用者数を踏まえた、文化センター等の事業展開を図るとともに、区内大学、NPO、民間団体、学校等とも連携しながら推進していきます。また、リカレント教育に取り組むなど、生涯学習に関する普及啓発を充実させるとともに、区民の誰もが好きな時に学ぶことができる場を創出していきます。さらに、誰もが参加できる多様な学習の場・機会の提供や生涯学習団体等の継続的な活動に対する支援を充実させ、あわせて、区民が主体的に学習、習得した成果を地域に活かす仕組みづくりに取り組みます。										
指標										
指標名		単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
学習や講座から得られた学びを地域活動や仕事に活かしている区民の数		人	285 (30年度)	311	304	268	307		370	文化観光課
指標選定理由		生涯学習における過程や活動成果を地域に生かす仕組みづくりを客観的に示す指標であるため								
分析	達成度	◆ここ数年はコロナの影響・深川江戸資料館の改修工事により新規募集を行わなかったことで減少していたが、令和5年度より新規募集を再開し語学講座や地域理解講座を修了した受講生がボランティアとして活躍できる場を提供する取り組みを行った結果、深川江戸資料館等でボランティアガイドとして携わる人が増加している。								
	4 (順調)									
取組コストの状況										
種別		5年度予算	5年度決算	6年度予算		7年度予算				
トータルコスト		1,516,919千円	1,314,950千円	1,628,612千円		1,475,550千円				
事業費		1,487,310千円	1,289,094千円	1,610,450千円		1,460,604千円				
人件費		29,609千円	25,856千円	18,162千円		14,946千円				
成果と課題										
◆主体的に学習、習得した成果を地域に活かす区民の数は着実に増えているため、今後もその機会の提供を継続していく。										
◆区民ニーズが多様化する中、引き続き講座等の内容の充実を図り、区民が主体的に学ぶ機会・場を創出していく必要がある。										

取組方針2		図書館サービスの充実		主管部長(課)		教育委員会事務局次長(江東図書館)				
				関係部長(課)						
中央館(江東・深川図書館)と各地域館との役割分担と連携により、開館日の増、開館時間の延長を定着させ、利用者の利用機会の拡大を図ります。また、利用者のニーズや地域特性を踏まえ、各館の特徴を活かした特色ある図書館サービスの提供に取り組むとともに、学校等教育施設や子育て・高齢者支援施設など地域資源との連携を深め、魅力的な図書館の実現と、人と情報が出会いイノベーションが生まれる地域情報拠点としての図書館機能の強化を図ります。なお、こども図書館の移転整備においては、子ども家庭支援センターとの連携による新たなサービス展開を進めるとともに、こどもたちが本の魅力や読書の楽しさに触れるきっかけづくりのため、こどもの成長段階に合わせた継続的な働きかけに取り組みます。										
指標										
指標名		単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
図書館来館者数(年間)		千人	3,289 (30年度)	2,632	2,973	3,173	3,444		3,750	江東図書館
指標選定理由		図書館における活動の成果を客観的に示す指標であるため								
分析	達成度	◆令和4年度までは新型コロナウイルス感染症による影響が大きかったが、各図書館での特色ある事業展開などサービス計画に基づく取り組みを継続したことにより、指標の向上に繋がっている。								
	4 (順調)									
指標名		単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
図書館が学びの場として役立っていると感じている区民の割合		%	70.6	69.9	72.7	72.1	70.3		75	江東図書館
指標選定理由		利用者ニーズや地域特性を踏まえた学びの場づくりにかかる区の取り組みに対する効果を客観的に示す指標であるため								
分析	達成度	◆全館で実施する図書館利用者アンケートや江東区政世論調査の結果の分析等により、利用者や区民のニーズを把握し、図書館運営の改善やサービスの向上に活かす取り組みを進める。								
	*									
取組コストの状況										
種別		5年度予算		5年度決算		6年度予算		7年度予算		
トータルコスト		2,685,507千円		2,484,750千円		1,933,023千円		1,913,330千円		
事業費		2,419,134千円		2,250,835千円		1,640,217千円		1,653,460千円		
人件費		266,373千円		233,915千円		292,806千円		259,870千円		
成果と課題										
◆図書館来館者数は順調に増えているが、多様化する区民のニーズに対応するため、学びの場としての機能を強化する必要がある。										
◆図書館が区民の学びの場として機能するために、電子図書館サービスなどの新たな事業を展開するなど、江東区立図書館経営方針に定める「目指すべき図書館像」の実現に向けた取り組みを着実に進めていく。										

4 一次評価《主管部長による評価》

総評	◆主体的に学習、習得した成果を地域に活かす区民の数が増加しており、様々な講座を開講し、誰もが参加できる学習の場を提供することで、生涯学習の促進が図られている。 ◆図書館は、各館で特色ある事業展開を継続して行い、サービス向上につながった。
今後の方向性	◆各種講座について、オンラインやICTを活用した新たな形での学習機会の提供など、区民が生涯学習に参加しやすくなるような工夫をするとともに、引き続き、生涯学習団体等の活動を支援し、区民自らが蓄積した知識を還元できる仕組みづくりを検討していく。 ◆図書館利用者のニーズの多様性を踏まえつつ、「江東区立図書館経営方針」に基づき、新たな取り組みを着実に進めながらサービスの向上を図っていく。

5 二次評価《区の最終評価》 ※4年度の外部評価結果を反映した評価について太字で表記してあります。

総評	◆指標については現状値から低下している指標もあるが、施策の進捗状況は概ね順調であると言える。 ◆今後も施策が目指す江東区の姿の実現及び指標の向上に向け、下記について着実に取り組む必要がある。
実現に向けた取り組み	◆生涯学習の促進について、社会状況の変化を捉え、ニーズの把握や、成果の測定方法を明確にし、区民が主体的に学習、習熟した成果を地域に活かす仕組みづくりを進める。 ◆図書館においては、「江東区立図書館経営方針」及び「こども読書活動推進計画」の改定に合わせて、地域特性など各館の特色を活かした一体的なサービスの提供を行うとともに、電子図書館の更なるサービス向上や区民ニーズ等の分析を踏まえた改善について検討する。 ◆各種講座についてオンラインと対面のハイブリッドで実施するなどICTのより一層の活用を進めることで受講者の利便性を確保し、生涯学習への区民の参加を増やすよう努める。